広告

未来へつなぐ。未来が始まる。

高知県事業承継・人材確保センター 7.10 金 グランドオープン

インタビュー　高知県知事　尾﨑 正直

高知県産業振興計画の新たな取り組みが本格始動!

二つの機能で高知県の活力アップへ!

◎円滑な事業承継を支援　◎後継者や中核人材の確保を支援

地産外商の成果を事業拡大と雇用創出へつなげる

―　いよいよ「高知県事業承継・人材確保センター」が7月10日にグランドオープンを迎えます。新設の背景についてお聞かせください。

後継者対策や事業拡大のための人材確保に官民挙げて取り組む

尾﨑知事　県では、産業振興計画に基づきさまざまな取り組みを進めてきました。

その結果、地産外商では例えば、地産外商公社の成約件数は、平成21年度の178件が平成26年度は4,393件と大幅に増加しています。また、機械系の地産外商を応援する「ものづくり地産地消・外商センター」の成約金額は、平成24年度の約2.5億円から平成26年度は約27億円と10倍程度になるなど、一定の成果も出ています。

一方、こうした地産外商の成果が拡大再生産につながり、さらに雇用へと結びついていくためには、事業がしっかりと承継されること、そして事業そのものを拡大していくための担い手が確保できること、この2点が重要になってきます。

本県の状況は、民間調査会社の調査によると、県内企業の5割以上は後継者不在で、さらに、休廃業件数が平成25、26年度と2年連続で200件を超えています。これは、倒産件数の4倍から6倍に相当し、後継者の確保がいかに厳しいかという現状が現れていると言えます。

この流れに歯止めをかけるため、後継者対策や事業拡大のための人材確保に、高知県全体で官民挙げて取り組む拠点として、高知県事業承継・人材確保センターを設置しました。

―　センターの機能として、後継者などの「人材確保」も強く打ち出されていますが。

新たな事業にチャレンジするための人材の確保にも対応

尾﨑知事　このように地産外商が進んでいる中で、企業が独自商品を開発し、売り出す新たなチャレンジをされたとします。すると、即座に自社の営業部隊が必要になります。逆に言えば、人材がいれば、新しい事業にチャレンジしやすいのです。

ですから、単に事業の後継者探しにとどまらず、事業規模を拡大する、新しい事業にチャレンジするにあたって人材が欲しい、そういうニーズにも応えられるようにすることで、さらなる拡大再生産につなげていきたいという思いから、人材確保の機能を盛り込みました。

―　高知県事業承継・人材確保センターの役割と、相談を受けた事業者への支援体制は。

専門家との連携によるワンストップの窓口対応

尾﨑知事　当センターは、全国的に見ても最大級の規模の総勢12名のスタッフを配置しています。また、金融機関のOBをはじめ、M&Aの専門会社や人材ビジネス事業者から派遣していただいている、実務に精通したスタッフが、ワンストップで対応しています。

さらに、事業承継の相談案件ごとに、商工会議所や産業振興センターのスタッフに、税理士や公認会計士などの専門家を加えた支援チームを編成します。この支援チームが、課題整理から事業承継計画に基づくビジネスプランづくり、新たな事業展開まで、ワンストップで一貫したサポートをさせていただきます。

―　県民の皆さまに向けて、このセンターのメッセージをお願いします。

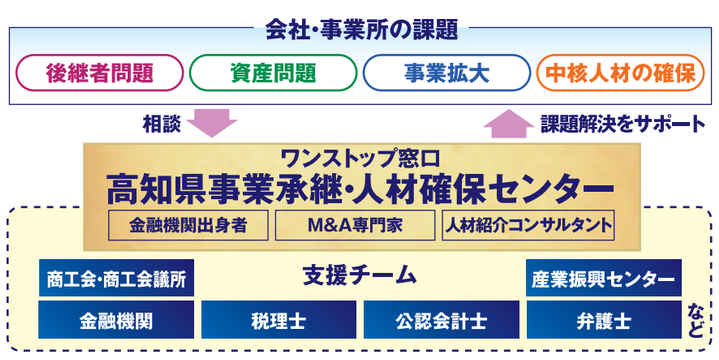
積極的に活用してほしい

尾﨑知事　人口減少に打ち勝っていくためにやらなければならないのは、まず第一に、地産外商だと思っています。地産外商の取り組みは一定の成果も上がっていますが、これを拡大再生産につなげていくという観点からも、事業承継と人材確保の取り組みは、高知県全体にとってきわめて重要です。

県全体として事業承継や人材確保を進めていくために、移住促進や一次産業の担い手確保の施策とも組み合わせて取り組んでまいります。なかでも事業者の皆さまに、ぜひ使っていただきたい拠点がこの「高知県事業承継・人材確保センター」なのです。「後継者が欲しい」あるいは「新しい人材を採用し、新分野を本格的に展開したい」などのニーズに応えていけるよう、センターには国内トップレベルの体制を整えています。

さらに当センターでは、移住促進や人「財」誘致の取り組み、ものづくり地産地消・外商センターとの連携によって、多方面から事業者の皆さまを支援してまいりますので、当センターを存分に活用してください。

高知県事業承継・人材確保センターのスタッフ総勢12名。
万全の体制でサポートさせていただきます。



事業者の皆さまのさまざまな悩みを専門スタッフがサポート

―　高知商工会議所は県と国から、高知県事業承継・人材確保センターの運営を委託されていますが、オープンして3か月、サービス窓口としての手応えはいかがですか。

青木会頭　4月1日からすでに50件を超えるご相談をいただきました。内容は承継やM&A、さらには中核人材の確保など幅広く、予想を上回る好スタートを切ることができました。事業拡大意欲を感じますし、承継や存続の先を意識した動きがみられます。

―　予想を上回る多くの相談があることに、県内事業者が寄せる期待が感じられますが。

青木会頭　後継者や中核人材が思うように確保できないという大きな課題を相談する新たな窓口を設置したことで、相談がしやすい状況、安心いただける状況となっています。事業承継・人材確保センターの活動は、企業が発展していくために、意義のあるものだと思います。そのためにも、センターの存在を知ってもらうのが大事だと考えていますので、引き続き積極的にPRしていきます。また、県内の各地域で事業者の皆さまを対象としたセミナーや個別相談会なども開催していきます。

―　事業承継や人材確保など、支援活動のポイントは。高知らしい支援体制の特徴についてもお聞かせください。

青木会頭　守りの姿勢から、打って出る姿勢への転換を支援するということです。一つは、事業資産や経営資源の引き継ぎに当たり、事業承継の専門的な部分をしっかりと支援していくことです。金融機関で経験を積まれた専門スタッフや事業承継のプロを配置して、円滑に事業が承継されるよう支援いたします。

二つ目には、事業承継のタイミングで経営戦略を立て、いかに企業を活性化させるかです。当センターでは、専門家の支援チームを案件ごとに編成してサポートすることとしています。

また、産業振興計画のさまざまなツールも活用しながら、新たな事業展開を積極的に支援いたします。

さらに三つ目として、後継者はもとよりノウハウや経験を持った核となる人材の確保をオール高知のネットワークも駆使してサポートし、手厚くマッチングしていきます。

事業承継は、後継者の育成や経営資産の移転など、時間のかかる取り組みです。当センターの専門スタッフが事業の課題解決を支援いたしますので、どうぞお気軽にご相談ください。

インタビュー
高知商工会議所会頭　青木 章泰

高知県事業承継・人材確保センター
グランドオープン 記念講演会

日 時｜平成27年7月10日［金］ 14:00～16:00　開 場 13:30
会 場｜高知県立県民文化ホール グリーンホール 高知市本町4丁目3-30
定員：450名 ※当日の参加も可能です。ただし満員の場合、ご入場になれないことがございます。ご了承ください。

入場無料

講演Ⅰ　事業承継
『地域を支えるファミリービジネス～永続発展に向けて～』

「ファミリービジネス」というのは、夫婦経営の小さな商店から全国展開している大企業まで、規模や形態はさまざまです。ただ、共通して言えるのは創業家、非血縁者も含む家族が理念、価値観を共有していて運命共同体のように集まり、世代を超えて事業を代々つないでいるということです。

多くの「ファミリービジネス」は地域に愛着を持ち、根差しています。雇用主として地元の雇用を守る、あるいはスポーツ支援、地域行事への寄付など幅広い範囲で、長年にわたり貢献しています。

そういったことからも、「自分たちが地域を支えていくんだ」という気持ちが強い「ファミリービジネス」の方々に、もめ事なく次世代に継いでいってもらうという「事業承継」は重要なんです。

課題は千差万別ですが、ほとんどのご家族で何らかの問題は抱えられている。家業、事業を永続的に発展させるためには、家族の皆さんが真剣に向き合い中長期的な視点で議論し、そのためのルール、「家族憲章」を決めることが必要になってくると考えます。

10日の記念講演会では、その点について、さらに詳しくお話しさせていただきたいと思います。

(株)フィーモ 代表取締役
大澤 真氏

プロフィール:1981年慶應義塾大学経済学部卒。同年日本銀行入行。国際通貨基金出向、ロンドン事務所次長、金融市場局金融市場課長、那覇支店長などを歴任。2006年PwCに入社し、パートナーとしてファミリービジネス、ヘルスケア、ホスピタリティ、金融などのリーダーを務める。2012年フィーモを設立し、地域を支えるファミリービジネスの持続的発展をテーマにアドバイスを行っている。

講演Ⅱ　人材確保
『人手不足時代! 持続成長する企業の人が育つ現場づくり』

日本全体が少子高齢化で労働市場はしぼみ、人手不足が深刻化しています。その中で会社組織がどうあるべきかというロールモデルが、地方の中小企業のサービス業だと考えています。なぜならば、サービス業は「労働集約型」「人ありき」のビジネスで人手不足で一番苦しむからです。

今の会社組織のモデルは1940年代から出来上がってきたものだと思います。戦後、製造業を中心に経済は成長してきました。若手の男性の働き手も増え、会社組織が大きくなることで、「男性は仕事場、女性は主婦」という男女の分業体制が続いてきたというのが実態だと思います。

ところが今は、少子化かつ高齢化社会なので、働く若手の男性が少なくなっています。そこで最近目を向けられているのがダイバーシティ、つまり多様性ということです。女性の活躍というのはその第一歩ですね。

新しい時代に応じた会社をつくるためには、活躍できる人材を確保し、育てなければなりません。そのために大事な「本当のコミュニケーション」「人材が育つ現場を取り戻す」ということについて講演でお話しいたします。

(株)FeelWorks 代表取締役
前川 孝雄氏

プロフィール：人材育成の専門家集団・㈱FeelWorksの創業者。兵庫県出身。大阪府立大学、早稲田大学ビジネススクール卒。人を育て活かす「上司力」提唱の第一人者として熱く発信中。同社で独自開発した「上司力研修」は150社超で導入され、育成風土を創る「社内報編集」も多数手掛ける。青山学院大学では働く意味を双方向で教え、「2020年の「女性活躍推進」研究会」も主宰。

ココカラはじまる、高知の未来!

高知県事業承継・人材確保センター

TEL 088-855-7748(代表) FAX 088-855-7764 相談受付：月～金 9:00～19:00(年末年始・祝日を除く) 土・日もご相談に対応します。【要予約】
※このセンターは、高知県・国の委託により、高知商工会議所が運営する公的機関です。

相談無料・秘密厳守
www.syoukei-jinzai.jp
高知県事業承継・人材確保センター　検索

〒780-0870 高知県高知市本町2丁目2-29 畑山ビル5階　E-mail：syoukei-jinzai@grace.ocn.ne.jp